



精密工学会九州支部ニュース

第8号

2002年9月

支部長就任にあたって

精密工学会九州支部長 河端 則次

支部会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今回、思いがけなくも支部長の重責を拝命致しました。長らくダイヤモンド工具メーカーにて研究開発に携わってまいりましたので、精密工学会は最も身近な学会であり、学術講演会、各種見学会セミナー等興味深く拝聴したり、時には発表させていただく機会を頂いて参りました。又ここ数年は評議員として名を連ねさせて頂きましたので若干の支部運営についても考える機会を頂いておりました。

しかしながら、正直申し上げて学会はやはり大学、研究所の先生方を中心とした活動であり、企業は外から必要に応じて参加させて頂く場と捉えていたのは否めないところでございます。

さて、九州は鉄鋼等重厚長大の素材加工から出発しましたが、カーアイランド、シリコンアイランドと産業構造の変化と共に大いに精密加工技術の実践の場として飛躍して参りました。更に伝統的に九州大学、熊本大学をはじめとする各所大学、研究機関の研究室において、精密加工技術が真摯に、継続的に実践研究されて来た特徴ある地域と理解しております。その中にありまして精密工学会九州支部も産学官の連携を重視しつつ重要な役割を担って機能してきたことは、疑う余地は無いところで

す。しかしながら、IT産業をはじめとする各種製造業の東南アジア、韓国、台湾、中国への移転、国内空洞化は急激に加速しながら、大きなうねりとなって国内製造業へ圧迫を加えております。ここ九州地区も大きな影響を受けていると思われま

す。前支部長も前号に述べられている通り、「われわれ技術者、研究者は最重要、最優先の課題を解決するとともに、世界のどこよりも一歩先に行く『本物の技術』を求めていくしかない」に全く同感致します。従って精密工学会九州支部に求められるものは、

東南アジア、中国に最もアクセスしやすい拠点として、日本の製造業、精密加工技術の発信基地として、更に産学官の連携を強固にし、『本物の技術』を作りつづけることではないかと思

います。精密工学会九州支部は現在、九州8県の大学、公設研究機関及び企業に所属する会員から構成され、正会員294名、賛助会員13社、名誉会員7名、学生会員29名(1999.2.17現在)と聞き及んでおります。やはりこれらの産学官が機能的結びつきを持ちながら、現状加工現場の付加価値技術の追求と将来に向かった加工技術の創出の二つの歯車をまわして行く必要があるのではないかと考え

ます。企業に身を置く立場として、企業として何が出来るか、大学、研究所の先生方と如何に一体化して上記目的を達成すべきか、九州支部として如何なる場所、場

面を提案していけば良いのか、会員皆様をはじめ、今までご苦勞賜りました歴代支部長、役員、評議員の方々のご意見も拝聴しながら模索していきたいと考えております。非常に大きな命題でございますので、一朝一夕にことが達成できるとは思

いませんが、支部会員の皆様のご指導、ご支援頂き少しでも前進することが出来れば幸いと

考えております。最後に、本年は精密工学会2002年秋期大会学術講演会が10月2～4日に熊本大学で開催されます。経済環境回復がまだ不十分な状態での開催となる可能性も高く、参加者数等においても苦戦が予想されます。安井実行委員長の下、九州支部全員でバックアップし是非とも成功させたいと

念願しております。重ねまして、宜しくご支援賜りますようお願い申し上げます。

精密工学会九州支部これからのカレンダー

2002/10/ 1～5	2002年度精密工学会秋季大会(於：熊本大学)
2002/10/ 4	精密工学会九州支部総会(於：熊本大学)
2002/12/ 6	精密工学会九州支部卒業研究発表会(於：北九州テクノセンタ)
2003/ 3/ 3	精密工学会九州支部技術講演会

2002 年度精密生産加工技術セミナー開催

精密工学会九州支部主催の技術講演会が平成 14 年 7 月 26 日(金)12 時より北九州市の東陶陶器(株)において開催された。「精度の極限を迫る加工技術」をテーマに 4 人の講師の方にそれぞれ 1 時間の講演をお願いした。今年の秋には 2 年毎に開催されている国際工作機械見本市が予定されており、工作機械メーカーをはじめとして、新技術の開発に大きな期待が寄せられていた。

会場となった東陶陶器(株)には 61 名(内 14 名は学生会員)が参加した。技術講演会では CBN 工具による超高速加工技術、多機能化したターニングセンタ、マシニングセンタ、リニアモータを応用した大型多軸マシニングセンタ等が動画により紹介された。さらにセラミックス製品の精密加工事例の紹介もあり、参加者と講演者による活発な質疑応答が行われた。

講演会終了後、東陶陶器(株)小倉第一工場を見学し、17 時 30 分に技術講演会は無事終了した。

技術講演会内容

- (1) 高速ミーリングを実現するための問題とそのブレイクスルー
理化学研究所 工学基盤研究部 ラピッドファブリケーション
開発チーム チームリーダー 安斎 正博氏
- (2) MC の高速高精度加工の迫り
(株)牧野フライス製作所
常務取締役 佐藤 真氏
- (3) CNC 工作機械の複合化による加工リードタイム短縮
ヤマザキマザック(株)開発設計事業部商品開発第 3 部 3 G
グループリーダー 山本 享氏
- (4) 半導体製造装置用セラミックス製品の精密加工
東陶陶器(株)
セラミック開発部長 粕川 敦彦氏



講師によるご講演



熱心に聴講される参加者

『精密工学で実らす夢モノづくり』

2002 年度精密工学会秋季大会行事のお知らせ

- 期 日 平成 14 年 10 月 1 日 (火) ~ 5 日 (土)
 [10 月 1 日: 工場見学会, 若手研究者・技術者の集い, 10 月 5 日: 精密技術懇話会]
 会 場 学術講演会 熊本大学工学部 2 号館講義室 (〒860-8555 熊本市黒髪 2 丁目 39 番 1 号)
 特別講演会 熊本大学工学部 223 講義室
 懇親会 熊本ホテルキャッスル (〒860-8565 熊本市城東町 4-2 TEL: 096-326-3311)
 若手研究者・技術者の集い メルパルク熊本 (〒860-8517 熊本市水道町 15-11 TEL: 096-355-6311)
 精密技術懇話会 阿蘇・天草など

行事および日程

	8:40	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
10月1日(火)	工場見学会											若手研究者・ 技術者の集い (メルパルク熊 本)		
10月2日(水)	学術講演会・ オーガナイズドセッション (A~N室)			学術講演会・ オーガナイズドセッション (A~N室)										
	シンポジウム「夢モノづくりを支える高度機械加工 技術」													
	先端技術紹介セッション パネル展示(共同製図室)													
	先端技術紹介セッション カタログ展示(2号館 211 講義室)													
10月3日(木)	学術講演会・ オーガナイズドセッション (A~N室)			先端技術紹介セッション (C,H室)	各賞 贈賞 式	熊本 大学 教授 北野 隆 氏	特別講演 熊本 城の 魅力 につ いて	学術講演会・ オーガナイズドセッション (A~N室)			懇親会 (熊本ホテルキャッスル)			
	先端技術紹介セッション パネル展示(共同製図室)													
	先端技術紹介セッション カタログ展示(2号館 211 講義室)													
	国指定重要文化財工作機械 公開・加工実演 (工学部研究資料館)													
	同伴者ツアー													
10月4日(金)	学術講演会・ オーガナイズドセッション (A~N室)			学術講演会・ オーガナイズドセッション (A~N室)										
	シンポジウム 「健康生活を支える精密			シンポジウム 「マイクロメカニズム」										
	先端技術紹介セッション パネル展示(共同製図室)			先端技術紹介セッション カタログ展示(2号館 211 講義										
	先端技術紹介セッション カタログ展示(2号館 211 講義			国指定重要文化財工作機械 公開・加工実演 (工学部研究資料館)										
10月5日(土)	精密技術懇話会 ミーティング・イベント													

8:40 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00

- 1) 工場見学会 日 時：平成 14 年 10 月 1 日（火）10：00（交通センター発） 10：20（熊本大学工学部発）
11：10（熊本空港出発） 13：30（阿蘇山観光） 17：30（解散）
見学先：熊本テクノロジー（直径 300mm ウエハ，設計ルール 0.1 μ m 世代の半導体製造プロセスに使える計測・加工技術用の 300mm / 秒以上の高速位置決め超精密高速ステージの見学等．）
東京エレクトロン九州（半導体製造プロセスにおけるコーター〔Si ウエハ上へのレジストの塗布装置〕，デベロッパ（露光後の Si ウエハ上のパターン自動現象装置）のデモ機見学，半導体製造装置工場見学．）
募集定員：40 名（定員になり次第締め切り）
会 費：会員 2500 円 / 人，非会員 5000 円 / 人（バス代・昼食代含む）
申込方法：FAX またはメールにて
1) 氏名（会員・非会員の別） 2) 勤務先・所属部課名
3) 連絡先（住所，電話，FAX，メールアドレス）を記入して下記宛にお送り下さい．
FAX：096-342-3762 E-mail：2002jspe@mech.kumamoto-u.ac.jp
そ の 他：同業者はお断りすることがあります．
- 2) 若手研究者・技術者の集い
日 時：平成 14 年 10 月 1 日（火）18：00～20：00
会 場：メルパルク熊本（熊本市水道町 15-11 TEL：096-355-6311）
会 費：3000 円
- 3) 先端技術紹介セッション
日 時：平成 14 年 10 月 2 日（水）～4 日（金）ただし最終日は午前まで．
会 場：熊本大学工学部共同製図室（パネル展示），2 号館 211 講義室（カタログ展示）
C～H 室（プレゼンテーション；3 日 11：00～12：00）
内 容：産・学・官の優れた技術を紹介する場としてパネル展示とプレゼンテーションを行います．
小間にてパネル・製品・技術展示を行うとともに，講演会場にて技術紹介のプレゼンテーションを実施します．
- 4) 特別講演会 日 時：平成 14 年 10 月 3 日（木）13：50～14：50
会 場：熊本大学工学部 2 号館 223 講義室
講 演：熊本大学教授 北野 隆氏 「熊本城の魅力について」
- 5) 同伴者ツアー 日 時：平成 14 年 10 月 3 日（木）10：00～16：30（熊本交通センター集合）
場 所：熊本の一窯元と天草五橋
内 容：熊本で活躍する窯元の見学，昔の船着場から天草一号橋を見ながらの昼食・五橋見学，
ビジターセンタ見学等．
会 費：3000 円（バス代・昼食代含む）
- 6) 懇 親 会 日 時：平成 14 年 10 月 3 日（木）18：00～20：00
会 場：熊本ホテルキャッスル（熊本市城東町 4-2 TEL：096-326-3311）
会 費：6000 円（同伴夫人は無料）
- 7) 精密技術懇話会
日 時：平成 14 年 10 月 5 日（土）
会 場：阿蘇・天草など
内 容：豊かな自然の中で，精密工学を語らい，会員相互の融和と発展を図ろうとするものです．
21 世紀の精密工学・技術についての夢のあるミーティングに加えて，テニス，クルージング，ゴルフ，トレッキング等の各種イベントも企画しています．
- 8) 国指定重要文化財公開・加工実演
日 時：平成 14 年 10 月 2 日（水）～4 日（金）
会 場：工学部研究資料館
内 容：熊本大学工学部では，全国で 13 台の国指定重要文化財工作機械のうち，11 台を保存
していますが，平成 11 年に，すべての工作機械を実際に加工できるように動態保存
化致しました．それら工作機械を用いた加工実演を公開致します．



国指定重要文化財工作機械（『15 尺旋盤』明治 39 年購入）



工学部研究資料館外観

2001年度精密工学会九州支部事業報告および会計報告

1. 事業報告 (平成13年4月1日～平成14年3月31日)

1. 総会・役員会

(1)総会	平成13年11月3日(土)	長崎大学工学部
(2)商議員会	平成13年11月3日(土)	〃
(3)幹事会	平成13年11月3日(土)	長崎大学工学部 ほか3回

2. 行事

(1)学術講演会	精密工学会九州支部長崎地方学術講演会 期日：平成13年11月3日(土) 会場：長崎大学工学部
(2)特別講演	「チタン合金の小径エンドミル加工と切削温度」 精密工学会副会長・広島大学教授 鳴滝 則彦 氏 期日：平成13年11月3日(土) 会場：長崎大学工学部
(3)技術講演会	精密生産加工技術セミナー 後援：福岡工業技術センター 期日：平成13年11月30日(金) 会場：九州大学ベンチャービジネスラボラトリー
(4)その他	九州支部ニュースレター第7号発行(平成13年10月)

2. 会計報告 (平成13年2月1日～平成14年1月31日)

1. 収入

1)前期より繰越金	198,887
2)平成13年度支部補助金	877,070
3)利子	200
4)学術講演会補助金	30,000
5)学術講演会	280,000
6)懇親会費	120,000
7)精密生産加工技術セミナー	91,000
8)中国四国支部共催費	200,000
9)その他	2,000
計	1,799,157

2. 支出

1)会議費	228,500
2)総会費	125,290
3)学術講演会費	480,937
4)懇親会費	220,640
5)精密生産加工技術セミナー費	263,984
6)九州支部ニュース7号発行費	84,440
7)印刷・通信費	31,847
8)消耗品費	56,518
9)事務人件費	280,000
10)幹事旅費	8,000
11)雑費	210
計	1,780,366

3. 差引残高(次年度へ繰越)

18,791円

[九州支部ニュースに関する御意見・御寄稿のお願い]

支部ニュースに御意見や御寄稿などございましたら、九州支部までお寄せ下さい。

[会員御勧誘のお願い]

学会活性化のために、正会員・学生会員・賛助会員の増加を計画しております。身近な方で精密技術に御関心のある方がいらっしゃいましたら、入会をお勧め下さい。入会のしおりは支部にございます。ご請求下さい。

お知らせ

2002 年度精密工学会秋季大会行事のお知らせ

- 期 日 平成 14 年 10 月 1 日 (火) ~ 5 日 (土)
[10 月 1 日 : 工場見学会, 若手研究者・技術者の集い,
10 月 5 日 : 精密技術懇話会]
- 会 場 学術講演会 熊本大学工学部
(〒860-8555 熊本市黒髪 2 丁目 39 番 1 号)
特別講演会 熊本大学工学部 223 講義室
懇親会 熊本ホテルキャッスル
(〒860-8565 熊本市城東町 4-2 TEL : 096-326-3311)
若手研究者・技術者の集い メルパルク熊本
(〒860-8517 熊本市水道町 15-11 TEL : 096-355-6311)
精密技術懇話会 阿蘇・天草など

支部電話 TEL/FAX (受信のみ) : 096-342-3762 大会連絡先 : 090-3507-1791

精密工学会九州支部卒業研究発表会のご案内

精密工学に関連する研究に携わっている学部生、高専生に発表の機会を与え、同時に他大学、他高専の学生との親睦をはかることを目的に開催を始めました精密工学会九州支部卒業研究発表会も第 3 回を迎えます。今年は北九州市にあります北九州テクノセンタを会場に、下記の日程で開催いたします。今回は完成度の高い研究発表はもちろんのこと、中間報告的なものまで広く募集したいと考えております。また、発表会においては参加学生の主体的な運営を期待しております。多くの学生のご参加をお待ちしております。

記

日時 : 平成 14 年 12 月 6 日 (金)

会場 : 北九州市戸畑区中原新町 2 番 1 号

(株)北九州テクノセンタ

注) 講演申し込み締め切りは 11 月 1 日(金)、論文提出締め切りは 11 月 22 日(金)必着の予定です。

以上

精密工学会九州支部ニュース 第8号 2002年9月発行

発行所 精密工学会九州支部

〒860-8555 熊本市黒髪 2 丁目 3 9 番 1 号 熊本大学工学部知能生産システム工学科内

TEL&FAX : 096-342-3762 E-mail : jspe@mech.kumamoto-u.ac.jp

Homepage : <http://server.mech.kumamoto-u.ac.jp/jspe/>